

和歌山県ヘリテージマネージャー養成講習会

栖原家を舞台に建物の保存について考えました！

11月16日(土)に北の町老人憩の家で和歌山県ヘリテージマネージャー養成講習会が開催されました。

ヘリテージマネージャーとは、『地域歴史文化遺産保全活用推進員』のことで、地域に眠る歴史的な文化遺産を発見し、保存し、活用し、地域づくりに活かす能力を持った人材を養成することが目的です。

講習会は、和歌山県教育委員会と建築士会が主催し、県内の建築家および設計士を対象に全10回の日程で行われ、その第4回が湯浅伝建地区を舞台に、京都大学大学院教授の神吉紀世子氏、湯浅町産業観光課伝建推進室長の前田和昭氏を講師に迎え行われました。

湯浅伝建地区の保存経過についての講義が行われた後、講師の案内のもと参加者は栖原家、酒井家、津浦家を見学しました。その後、参加者が8班に分かれ、今回の講習会の課題である栖原家の保存活用について考え合わせ、それぞれの保存活用案について発表されました。

また、栖原家は家主である栖原さんのご厚意で、湯浅町文化財保護審議委員会委員と湯浅伝建地区保存協議会委員も主屋および土蔵を見学しました。



『保存協議会視察研修』については拡大版で紹介します

湯浅伝建地区保存協議会

まちなみ瓦版に皆様のご要望などを掲載していきたいと思っております。ご意見・ご要望などございましたら、保存協議会委員までご連絡をお願いします。

編集委員

楠山 吉雄
半邊 宗五
妻木 禎子
道津 節子
齋藤 春太郎

まちなみ瓦版

■平成25年12月2日
■第19号
■発行：湯浅伝建地区保存協議会
■発行責任者：木下 智之

保存協議会の会議を開催しました

○役員会

日時：10月2日(水)
午後7時30分～午後9時10分
場所：北の町老人憩の家1階
出席者：会長、副会長3名、事務局3名

【議題】

■全体会議の開催について

役員会で協議された結果、10月23日(水)午後7時30分から北の町老人憩の家で全体会議を開催することに決定されました。また、議題については、甚風呂の管理運営や視察研修の受け入れ、保存協議会の視察研修などについて協議することとしました。



○全体会議

日時：10月23日(水)
午後7時30分～午後8時45分
場所：北の町老人憩の家1階
出席者：会長、副会長3名、委員20名、事務局3名

【議題】

1. 甚風呂の指定管理制度の導入について

事務局より以前施設運営部会で議論された内容について説明されました。協議の結果、保存協議会が甚風呂の指定管理者として平成26年度より運営を行うことで決定され、今後、指定管理制度実現に向けて進めていくこととしました。

2. 平成25年度 湯浅伝建地区保存協議会の視察研修について

事務局より視察先のオータムフェスティバル in 龍野について説明され、湯浅町文化財保護審議委員会にも参加案内を出すことで決定されました。

3. 和歌山県ヘリテージマネージャー養成講習会の開催について

事務局より、養成講習会の概要について説明がありました。また、講習会では北鍛冶町の栖原家が保存協議会委員に向けて公開されるとの説明が併せてされました。

4. 兵庫県篠山市篠山地区 篠山まちなみ保存会の視察研修受け入れについて

事務局より、町並みの視察については、事務局とボランティアガイドで案内し、意見交換会については役員会が対応するとの報告がありました。



伝建地区はイベント盛り

11月の北町通りはいろいろな美術、芸能の発表会が行われ北町を通る皆さんはあちらに寄りこちらに寄りと観賞に忙しい月間となりました。『酒井燃料店』では行灯観賞、『北町ギャラリー』では和歌山県退職公務員連盟有田支部の皆様の作品展、『太田味噌店の前蔵』では切り絵鑑賞、琴の演奏会などたくさんのイベントが行われ、観光客をはじめ北町を通る皆さんは楽しみながら立ち寄っていました。このようなイベントは地域活性化の第一歩として継続的に開催されることができれば伝建地区の新たな活動につながります。11月に行われたイベントの一部を紹介します。

太田家の前蔵をイベント会場として活用

・ベビーマッサージ教室『めばえ』

ロイヤルセラピスト協会セラピストの深瀬美由紀さん(栖原区生まれ 有田川町在住)がお母さん・お父さんと赤ちゃんのコミュニケーションや健康・成長を手助けするマッサージ教室を開催しました。ベビーマッサージは10月16日(水)に北町茶屋いっぴくで、19日(土)に太田家の前蔵でそれぞれ行われ、深瀬さんの指導のもとお母さんたちが子どもに歌い語りかけながら筋肉の発達促進やリンパの流れを良くするマッサージを体験しました。



【深瀬美由紀さん】

参加者からは、「子どもとじっくり向きあえて、体のすみずみまで触れ合えたので良かった。」などととても充実した時間を過ごされていました。

・町並みの切り絵 岩本正秀さん個展

北町の大田久助味噌店の前蔵を展示場にお借りして「湯浅の町並み」と題して11月1日から11月24日まで個展が開催されました。会場には伝建地区の古い町並みの風景を主体とし熊野古道のいろはカルタ、風景の切り絵が展示されました。岩本さんの切り絵の作品作りは約40年の間研究を重ね、この古い町並みを切り絵に表現し白と黒の二色で景色の遠近、建物の重厚さ、影による建物が浮き出る様子が表現されています。



見学者からは、「切り絵で表現するにはどのようにするのですか」「色をつけるのにはどのようにするのですか」などの質問があり作品の素晴らしさに感動していました。

岩本さんの古い町並みの切り絵は写真と違って一目見たときに頭の中に鮮明に焼きつくようなインパクトを与える素晴らしい作品ばかり、次回の個展は高野山の風景を切り絵で表現し、高野山で開かれる予定で、現在、作成中だそうです。楽しみですね。

【岩本さんからのコメント】

作品を仕上げるまでは何度も失敗を繰り返し自分の思いを伝えるための工夫を行い、回を重ねるごとに自分の表現の型が出来上がっていくのが楽しみでした。しかし、手先の微妙な動きに肩のこる作業が多く、大作になると仕上げるのに1ヶ月もかかるものもありとても大変です。

田辺市立上芳養小学校生徒が甚風呂を見学 『昔の暮らしに興味津々!』

11月5日(火)に田辺市立上芳養(かみはや)小学校3・4年生30名が甚風呂へ社会見学にきました。社会科学習「今にのこる昔とくらしのうつりかわり」において、昔の道具や生活用品、またその



使い方について理解し、人々の知恵や生活様式の変化について考えることを目的としたもので、甚風呂スタッフ2名の説明のもと、生徒たちは、家で見ることがない古民具に触れ目を輝かせていました。また、スタッフの説明を聞き一生懸命メモを取りながら、質問にも積極的に答えていました。

甚風呂が伝建地区の観光名所としてだけでなく、学びの場として活用されることはとても嬉しいことです。

兵庫県篠山市伝建地区住民が湯浅伝建地区を視察 篠山まちなみ保存会が来訪

11月14日(木)に篠山市篠山の伝建地区住民54名が湯浅伝建地区を訪れました。先ずボランティアガイドが伝建地区の案内を行い、その後、保存協議会の役員会と事務局2名が参加し、憩の家で意見交換会を行いました。意見交換会では、湯浅伝建地区の活動内容について木下会長から説明しました。篠山まちなみ保存会からは、電線の地中化、保存協議会活動費、ボランティアガイドとの連携などについて質疑があり、役員会が湯浅の取り組み状況を紹介しました。



篠山まちなみ保存会の小林会長からは、「伝建選定当初は伝建地区住民の生活環境が急激に変化することを恐れ、地区文化を守ることを心がけてきたが、現在では地域住民からの前向きな働きかけもあり、活性化に向けての取り組みも進んでいる」また、「篠山地区は6つの地区から成り立ち武家地区3町、商家地区3町から成っており、生活形態が相対するので、空き店舗の活用方法などもそれぞれの良さを活性化につなげるように工夫している」との篠山市の取り組みについてお話をいただきました。



保存協議会は、8年前に篠山伝建地区を視察しました。今回の交流を経て、再び私たちが篠山市を訪問し、以前との町並みの変化について勉強させていただく機会が必要かと考えました。

